

介護福祉士実習指導者講習会 アンケート集計

参加者 44名 (回収率 100%)

男性 16名 女性 28名

20代 6名 30代 10名 40代 18名 50代 7名 60代 2名 無記名1名

職種

介護職員 36名 ホームヘルパー 2名 介護支援専門員 1名 相談員 6名

その他 4名 (施設長、支援員)

所属職場

老人福祉施設 19名 老人保健施設 7名 障害者支援施設 5名

デイサービス 2名 有料老人ホーム 4名 その他 6名 (病院、サ高住)

介護職の通算経験年数

～5年未満 4名 ～10年未満 13名 10年以上 25名

介護福祉士資格習得後の年数

～5年未満 7名 ～10年未満 15名 10年以上 20名

介護福祉士資格取得方法

国家試験 33名 養成施設卒業 11名

受講の動機

自分の希望 8名 職場の上司からの勧め 38名

受講の目的

実習指導者として活動するため 18名 知識の補充 26名 技術の補充 13名

自己啓発や動機づけ 4名

勤務との関係

勤務として参加 33名 有給休暇により参加 7名 その他 4名 (休日)

費用の負担

全額職場負担 33名 全額自己負担 7名 受講料のみ職場負担 4名

介護福祉士会について

入会している 17名 入会を検討中 14名 入会するつもりはない 10名

- ・入会するメリットがわからないから
- ・年会費が高い
- ・研修に参加する機会が少ないから
- ・会長の話を聞き、少し興味がわいた
- ・介護施設で介護福祉士として業務をしているわけではないので
- ・周りに入会している人がいない

個々の科目および研修全体について

評価：1 = たいへん参考になった 2 = 参考になった 3 = あまり参考にならなかった
4 = 参考にならなかった

参考になった点：記述

1 日目

介護の基本： 1 = 7 名 2 = 27 名 3 = 6 名 4 = 4 名

実習指導の理論と実際： 1 = 10 名 2 = 23 名 3 = 6 名 4 = 4 名

- ・基本の復習ができた
- ・介護の歴史、法律、制度が理解できた
- ・実習懇談会の方法
- ・指導することの難しさを感じた
- ・実習指導者の役割
- ・カリキュラムの内容
- ・介護実習の意義、目的
- ・グループワークでの情報交換

2 日目

介護過程の理論と指導方法： 1 = 23 名 2 = 10 名 3 = 3 名 4 = 8 名

3 日目

スーパービジョンの意義と活用及び学生理解：

1 = 24 名 2 = 9 名 3 = 2 名 4 = 9 名

- ・バイステックの7原則
- ・面接技法、対人援助
- ・コミュニケーション技法
- ・実習生の不安や感じ方
- ・自ら考える人材育成
- ・介護過程を展開していくうえでの指導者の関わり方
- ・事例のICFを活用した指導方法
- ・スーパービジョンの活用方法
- ・指導者、実習生それぞれの立場の理解
- ・職場の環境づくり

4 日目

実習指導の方法と展開： 1 = 18 名 2 = 16 名 3 = 3 名 4 = 7 名

実習指導における課題への対応： 1 = 21 名 2 = 13 名 3 = 5 名 4 = 5 名

実習指導者に対する期待： 1 = 15 名 2 = 15 名 3 = 5 名 4 = 6 名

- ・介護現場の状況が分かりやすかった
- ・実習生を向かい入れる手順、準備の必要性
- ・実習マニュアルの作成

- ・施設全体での指導への取り組み
- ・初めての実習受け入れに参考になった
- ・実習生主体の実習
- ・グループワークで課題がみえた。解決策検討の中での学び
- ・グループワークで、他施設での課題も参考になった
- ・介護者としての喜び、感動を実習生に伝えたい
- ・ケアする人をケアする
- ・実習生の受け入れに際しての留意点
- ・科学的根拠をもった介護

総合評価

1 = 22名 2 = 10名 3 = 3名 4 = 5名

- ・介護者としての基本が学べた
- ・学んだ指導方法を実践できるよう努めたい
- ・ズームによる通信障害が残念
- ・ケアする人をケアする、心に残った
- ・貴重な話が多く聞けた
- ・若い人が「介護はいいことだ」と思えるスーパーバイザーになりたい
- ・実習に対する意識が変わった
- ・自分に足りない点の再確認と方向性がわかった

自由記述欄

- ・自身の振り返りができる研修だった
 - ・グループワークでの意見交換はとても勉強になった
 - ・チームワークを作り、皆と共有していく、相手を認め応援する気持ちが大切ということが理解できた
 - ・体験談を交えての講義がよかった
 - ・実際と目標との違いを把握し、少しずつ取り組むことが大切と感じた
 - ・ケアする人をケアする、サポートしていきたい
 - ・グループワークでない時、机の位置によって見えにくい部分があり、聞き取りづらさを感じた
 - ・グループワークで、いろいろな意見、施設を知ることができた
 - ・自身の疑問や悩みの解決の糸口になった。介護士の、喜び・生きがいを伝えたい
 - ・内面的思考の大切さを学び、自尊心が高められ、学びの意欲がわいた
 - ・実習生に対する学びの中で、現場職員の支援に活かせることが多々あった
 - ・松宮先生の講義方法が、とても勉強になった
-
- ・認知症ケア研修
 - ・指導者としての心のケアの方法、モチベーションを高める方法のような研修